

【全国発信記事】名古屋支部 《鳥羽市》 へ申し入れ

名古屋支部は第82回定期全国大会の決定事項に基づく申し入れと、東海北陸旅客船協会の旅客船の維持・活性化に向けた申し入れを、関係する地方自治体および関係機関に全国海友婦人会伊勢湾支部と合同で実施し、申し入れには組合政治参与の加藤一登名古屋市議員をはじめ、岡明彦愛知県議会議員、坂倉広子鳥羽市議会議員にご同行いただいた

全国海友婦人会は東海北陸旅客船協会と合同で申し入れ

申し入れでは、はじめに山原始名古屋支部長から申し入れの趣旨を説明し、外国航路や離島航路で働いている船員職業の役割と重要性、その船員後継者の確保・育成と船員の住民税減免一などについて理解を求めた。

申し入れでの対応

《鳥羽市》

中村欣一郎鳥羽市長は、鳥羽市も市営離島航路を運航しており、コロナ禍による運輸への影響を実感している。田原市と協力し伊勢湾フェリーのPR、港町の活性化を通じて志摩マリンレジャーの観光活性化を図っていきたい。また船員関係法令の改正が控えており、船員の確保・育成が大きな課題であるなか、船員が地方へ移住・定住を考える方策も考えていかねばならない一との考え方を示した。

「海員だより」